

耐熱不燃パネル

東西工業（藤枝市）

業界初という「耐熱不燃パネル」を開発し、国の検査機関に認定を申請している。正式に認定を受ければ、9月末に完成した広さ約300平方メートルの新工場で増産体制に入る。

これまで不燃性を持ったパネルは製造、販売されていたが、高温断熱性を併せ持つパネルは未開発だった。そこで10年前から開発に取り組み、新規設備を導入して試行錯誤を重ねて新たなパネ

創造企業 しずおか

超低温、高湿度も対応

ルの開発に成功した。

同社がこれまで製造す

る断熱パネルの特徴は①

氷点下50度から150度の超低温、高湿度に対応可能②フルオーダーメ

ードにより特殊外観に対応③柱がなく独立構造の自立パネルで効率的な利

用ができる。さらに火災などを想定した不燃性能が加わった。

不燃性を備えた断熱パネルは不慮の事故や大型災害などを考慮し、近年急速に需要が高まっている。



南極の昭和基地でも使用される断熱パネルを製造する東西工業



杉山友紀社長(40) 日本の各製造メーカーは「こんなところまで必要か」というほど耐久テストを行う。自動車や家電、文房具など、全ての商品メーカーがわれわれのお客さんだと思っている。販路は無限にある。品質管理をしっかりと行って良い製品を作るのはもちろん、社内の雰囲気がいい会社になりたい。サラリーマン生活を経験したので社員とともに取り組みたい。

主な販路は環境試験室メーカーで食品や医薬品工場もある。南極の昭和基地での氷点下60度の酷寒地用試験ルームとしても採用されている。年間の売上は10億〜12億円で、新たなパネルの導入で15億円の売り上げを目指す。

◆会社概要 1969年設立。従業員50人。藤枝市横内。